



THE AKAMATSU

知識の森

通信 vol. 31

http://www.kyowa-u.ac.jp 編集:宇都宮共和大学入試・広報委員会 発行:宇都宮共和大学

UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.

宇都宮共和大学

〔宇都宮シティキャンパス〕 〒320-0811 栃木県宇都宮市大連町1丁目3番18号 TEL.028-650-6611 FAX.028-650-6612	〔長坂キャンパス〕 〒321-0346 栃木県宇都宮市下荒計町長坂3829 TEL.028-649-0511 FAX.028-649-0660	〔那須キャンパス〕 〒329-3121 栃木県那須塩原市鹿野崎131 TEL.0287-67-3111 FAX.0287-67-3112
--	---	--

がんばろう日本 ● 宇都宮共和大学・宇都宮短期大学は 東日本大震災 復興のための支援活動を実施しています!



「被災地の子供達」

学生 野中健人

私たちの班は石巻にある小学校に行き附属高校の生徒が作ったクッキーを被災者の方々に配り、子ども達と色々な話や野球、サッカーをしてひとときを過ごしました。

一緒に遊んだ一人の子に質問をしてみて「将来何になりたい?」と聞いてみたら「大工さんになりたい」という返事が返ってきました。また、今一番欲しいモノは何って聞いたら『家』って言ったことには、すごく辛い気持ちになりました。

私にはほんの小さな事しかできませんでしたが、少しでも被災した方々の心を和らげる事ができて良かったと思っています。



宇都宮共和大学・宇都宮短期大学の学生有志が 復興支援ボランティアで 宮城県石巻市へ

5/15
(日)

東日本大震災の発生から約半年が経ちました。私たちは普段の生活を送っていますが、被害の大きかった東北地方では、今もなお避難所での生活を余儀なくされている方々が大勢います。

5月に、震災直後から現地で活動しているボランティアスタッフと連携し、本学学生有志による避難所でのボランティア活動を実施しました。実際に自分の目で被災地を見て、学生として何が出来るのか、これからの復興に向けて何が必要なのかを考え、併せて、今回の経験が今後の自主的な支援活動へのきっかけとなることを目的としました。



「感謝」

学生 柴田芹那

想像を絶する以上の悲惨な状況で、避難者の方々と話そうとしても、何を話していいのか、言葉が出なかったことが第一印象です。

野菜を食べられないこと、水と電気も停止していて下水処理も出来ず、周囲の何とも言えない臭いから、栄養や衛生が心配になりました。



そんな中にある現地のボランティアの方々がすごく明るく元気で、私自身が励まされました。そして、「信頼しないと始まらない」という言葉に感動しました。今まで色々なボランティアに参加しましたが、今回、「してあげる」ではなく、「させてもらっている」という意味を少し理解できた気がします。この気持ちをこれからの学生生活に役立たせていけたらと思っています。

東日本大震災:死者15,698人、行方不明者4,666人、被害総額 16~25兆円(直接被害のみ) | 総務省8月14日現在



教員 古川和穂

「石巻での思い」

草一本も生えてないような状況の養中学校に、本学の学生が植えてくれたプランターの花が、少し明るような、それでいて寂しいような、何とも言えない雰囲気を感じられる中、中年のご婦人が、じっとそのプランターの花を眺めていました。

私が話かけると、涙をポロポロ流しながら海の方を指差し、「私の家はあの辺りにあった。夫と姉が津波に流されて、この中学校あたりで発見された…。私は生き残ったけど、地震の後は辛いことばかりです。でも、遠くから皆さんが来てくれたことは嬉しい。本当にありがとう。このお花を大切にします。」と話されました。私も涙をこらえることが出来ず、泣きました。

学生の皆さんには、被災者に寄り添う気持ちを持ち続けて欲しいと思います。



まちなか 復興支援 チャリティコンサート開催

於:宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス

私たち宇都宮共和大学・宇都宮短期大学の学生は、東日本大震災で被災された方々に「何かお手伝いできないか」と考え、宇短大音楽科の先生方の協力を得て『まちなかチャリティコンサート』を、4月9日(土)に共和大学宇都宮シティキャンパスにて開催いたしました。

おかげさまで義援金約33万円集まりましたので、4月22日(金)に、栃木県とちまる募金・宇都宮商工会議所・下野新聞社にお届けいたしました。

ご協力くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。



▲栃木県・宇都宮商工会議所等の募金へ

▲まちなかチャリティコンサートの様子

宇都宮共和大学シティライフ学 7/22 (金) シンポジウム開催

於:宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス

テーマ 東日本大震災の復興と栃木の産業・暮らしを考える

宇都宮共和大学シティライフ学シンポジウム(主催:共和都市経済研究センター)が7月22日(金)、宇都宮シティキャンパスで開催されました。

「東日本大震災の復興と栃木の産業・暮らしを考える」をテーマに、震災後の栃木県の産業振興や街の活性化について考え、一般市民、企業、自治体の職員等約100名の参加者が耳を傾けました。

シンポジウムは2部構成で、まず元内閣官房副長官で(財)地方自治研究機構会長の石原信雄氏が「東日本大震災の復興における政官民の役割」、長岡大学経済経営学部教授の原田誠司氏が「東日本大震災と地域産業の再生」と題して、それぞれ基調講演が行われ、続いて本学学部長の山島哲夫教授をコーディネーターに経済同友会副代表幹事(復興支援特別委員長)の中津正修氏を加えてのパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換がありました。



(財)地方自治研究機構 会長 石原信雄氏



長岡大学 経済経営学部 教授 原田誠司氏



index

P1

大震災 復興のための支援活動を実施

P2, P3

宇都宮共和大学祭「すみれ祭」ポスター
共和大・宇短大祭「彩音楽」ポスター

P4

合宿交流研修会を開催
子ども生活学部公開講座
教育実習を終えて
研究室より
那須塩原市民開放講座
入試・広報委員会からのお知らせ
スカラーシップのご案内

宇都宮共和大学・宇都宮短期大学 合宿交流研修会を開催

4月27日(水)・28日(木)、宇都宮共和大学と宇都宮短期大学の1・2年生と教員全員が参加して、合宿交流研修会が鬼怒川の「きぬ川ホテル三日月」で行われました。

テーマは、「自分を生かしつつ、集団を楽しむ」でした。全体会では日光市の阿部副市長から歓迎のご挨拶があり、東日本大震災後の風評被害から観光客が大幅に減少している中で、大勢で研修が開催されることへの謝辞をいただきました。

研修にける意識を高めた後、シティライフ学部・子ども生活学部、音楽科・人間福祉



学科社会福祉専攻・介護福祉専攻に分かれて、2年生が中心となって、あらかじめ時間をかけて企画し工夫を凝らした交流会を実施いたしました。

研修の合間には、温泉にゆったりつかり、おいしい料理を味わい、疲れを癒しました。学生からは、「笑いあり、おしゃべりあり、学年・専攻を越えての交流ができ、集団の中での自分の存在価値を見出し、新しい自分を見つけ、充実した2日間だった」との感想が多く聞かれ有意義な合宿交流研修会となりました。

教育実習を終えて

シティライフ学部 教職課程担当
教授 入江 宏
宇都宮大学名誉教授
元 栃木県教育委員長

教育実習を終えて、学生の皆さんは達成感を得て顔つきもちょっと引き締まり、一段と成長された様子です。「知っている」と、それを「人に教える」とことには大きな違いがあることを身をもって知り、また、子どもたちとの交流の中でお互いの成長を実感できたことと思います。この貴重な体験を今後の人生に生かしていただけることを期待します。

シティライフ学部 4年 本多広美さん

教育実習に行く前は、本当に自分が実習生としてやっていけるのか不安でいっぱいでしたが、自主学習ノートのチェックや、清掃活動・朝の教員会議への出席により教員としての自覚が深まりました。

ホームルームのほか、華道・茶道・書道などの部活動にも参加し、生徒たちと交流を深めることができました。実習終了時に生徒から「本多先生ならいい先生になれるよ!」「本多先生に出会って大学進学を決めました!」などとメッセージをもらうことができた。私の人生において、本当に有意義で価値のある4週間だったと思います。



吉田雅規さん



小森真奈美さん



渡邊順子さん



吾妻健太さん

宇都宮短期大学附属中学・高等学校や出身の高校において、教育実習を行なった様子です。

宇都宮共和大学 那須塩原市民開放講座

9月28日(水)	「人との心地よいかかわり ～イマドキのあり様～」	准教授 月橋 春美
10月12日(水)	「イマドキの栃木弁 ～若者の話し方・栃木の方言～」	専任講師 高丸 圭一
10月26日(水)	「イマドキの日本語 ～昭和から現在までの流行語・新語～」	専任講師 松田 勇一
11月10日(木)	「イマドキのモンスタークレーマー ～司法制度がモンスターをつくる～」	准教授 岡田 好弘

時 間:18:00~20:00

会 場:宇都宮共和大学 那須キャンパス

受講料:無料

《お申し込み・お問い合わせ》

那須塩原市教育委員会 TEL 0287-37-5364

生涯学習課 生涯学習係 FAX 0287-37-5479

入試・広報委員会からのお知らせ

■平成24年度シティライフ学部・子ども生活学部 入学試験概要

入 試 区 分	出 願 期 間	試 験 日
AO入試	平成23年 8月 1日(月) ～ 平成24年 3月10日(土)	随 時
公募推薦入試	11月 1日(火) ～ 11月10日(木)	11月12日(土)
特待生入試	11月16日(水) ～ 12月 1日(木)	12月 3日(土)
チャレンジ入試	11月16日(水) ～ 12月 1日(木)	12月 3日(土)
一般入試Ⅰ期	平成24年 1月11日(水) ～ 平成24年 1月27日(金)	2月 4日(土)
センター試験利用入試Ⅰ期	1月 5日(木) ～ 1月27日(金)	書類のみ
一般入試Ⅱ期・社会人入試	2月 1日(水) ～ 2月15日(水)	2月18日(土)
一般入試Ⅲ期	2月27日(月) ～ 3月 8日(木)	3月10日(土)
センター試験利用入試Ⅱ期	2月24日(金) ～ 3月21日(水)	書類のみ



東日本大震災に伴う緊急学費支援制度が設置されました。

▶詳しくは本学ホームページをご覧ください。

子ども生活学部 子育て支援研究センター 公／開／講／座

子ども生活学部子育て支援研究センターでは、幼稚園教諭・保育士や一般市民を対象に、「子どもの保育と教育」をテーマに連続5回講座を開講しています。毎回、本学教員による研究会(第1部)と、子どもの教育・保育の研究者(ゲスト講師)による講演会(第2部)の2本立てで行っています。

第1回は、7月16日(土)に行われ、猛暑の中100名を超える参加者がありました。開講式に続いて、第1部は、本学専任講師羽石道代による「ピアノで彩る物語・絵本の世界」を「ピーターと狼」の華麗なピアノ演奏と朗読、第2部は、お茶の水女子大学元学長本田和子氏(子ども学)による講演「子どもへのまなざし」が行われました。参加者からは「音楽を楽しむことをこれからの教育に活かしていきたい!」「現代の子どもの育て方、教育の仕方、見守り方を考え直す必要を痛感した!」などの感想が寄せられ、大変好評でした。



第2回 9月3日(土)	体、頭、心を育てるリトミック 本学准教授 山口晶子	子どもが育つ条件 東京女子大学名誉教授(発達心理学) 柏木恵子先生
第3回 10月8日(土)	バステル画を描いてみよう 本学准教授 中飯治子	子どものウソは「嘘」か? ～子どもの創造的想像力を育む親の役割～ お茶の水女子大学客員教授(発達心理学) 内田伸子先生
第4回 11月5日(土)	子どもの心を支える音楽療法 宇都宮短大准教授 山本久美子	幼児期から児童期への教育 東京成徳大学教授(幼児教育学) 神長美津子先生
第5回 12月10日(土)	コミュニケーションワーク 本学教授 河田 隆	生涯発達における心の基礎づくり 早稲田大学人間科学学術院教授(臨床心理学) 菅野 純先生

研究室より 山口研究室

子ども生活学部 音楽担当
准教授 山口 晶子

子ども生活学部の音楽教育は、宇短大音楽科の伝統を発展させて、①**ピアノ奏法と楽典**、②**幼児音楽**、③**童謡・楽曲のピアノ弾き歌いと合唱**の、3つの柱で構成しています。私は主に幼児音楽を担当しており、その教育内容をご紹介します。

読譜、歌唱、楽器演奏以外にも音楽の学習には、聴く、動く、踊る、演じる、遊ぶ、作るなど、さまざまな方法があります。専門的な音楽の学習歴がない学生でも、**リズム感、感受性など、潜在的な能力**を持っています。歌詞・リズム・メロディー・和音から、それぞれの情感や情景をくみとり、感じたとおりに歌い、演奏したいという意欲を喚起し、自分の長所を音楽と結び付けることから授業を始めます。

さらに、「**リトミック**」では、リズムによる自分自身のスキルアップと、音楽による子どもたちの人格形成を目指す指導法を学びます。創始者であるタルクロウス氏によれば、リトミックの教育目的は、「学んだあと、学生が「知っている」ではなく、「やりました」というように、自分を表現したいという気持ちを生み出すこと。人は、強い感動を味わい活力が増せば増すほど、周囲に活力を届けようとするものです。受け取る、与える、これが人間の本質である。」とのことでした。

私も、学生にさまざまな音楽体験の場を展開することによって、将来、幼児教育者として子どもたちの成長を支援できるよう、心がけています。

スカラーシップのご案内

《一所懸命努力する人を応援する、きめ細やかな支援体制》

■入学試験時の成績優秀者を特待生とし、**4年間の授業料を全額免除**、もしくは**半額免除**する「特待生入学試験」があります。

■在学生に対して、前年度の成績に応じて奨学金を支給する「**須賀スカラーシップ制度**」を設けて、意欲ある学生のキャンパスライフを応援しています。

特待生入試

(㉔…シティライフ学部、㉕…子ども生活学部)

受験生のうち一定基準以上の入学試験成績優秀者を次のような「特待生」とします。

- ・**授業料全額免除の特待生**になれば、4年間の学納金は ㉔120万円、㉕196万円です。
- ・**授業料半額免除の特待生**になれば、4年間の学納金は ㉔250万円、㉕326万円になります。

在学生奨学金

ダイヤモンド奨学金—授業料減免

情報・語学・専門の各授業科目を総合して成績優秀な学生に対し、**次年度の授業料を「全額」もしくは「半額」免除**します。入試特待生以外の、すべての学生にチャンスがあります。

知識力奨学金—資格試験受験を全面支援
学生には、標準的な専門知識、すなわち各種の資格検定試験に合格して、資格を取得することが求められています。英検、情報処理、簿記、ファイナンシャル・プランニング技能士、販売士、宅地建物取引主任者など、各種**資格試験の受験料を奨学金**として贈ります。すべての学生が対象となります。



▲ダイヤモンド奨学金受賞者 (シティライフ学部)

